

2015年1月15日発行

K



(公社)神奈川県理学療法士会ニュース

The Kanagawa
Physical therapy Association
News

P

1
2015
January
No.261

http://www.pt-kanagawa.or.jp

A

Kanagawa Physical therapy Association

○発行 | 神奈川県理学療法士会 ○代表 | 秋田 裕 ○編集 | 谷 浩明

○発行所 | 〒220-0003 横浜市西区楠町4-12 アーリア20 101号 Tel.045-326-3225/Fax.045-326-3226 E-mail:jimukyoku@pt-kanagawa.or.jp

○会員数

[26.12.1現在]

4,304名

Contents

P1▶巻頭言 P2▶活動報告/会長行動報告 P7▶新人教育プログラム
P8▶会員ライフサポート部活動報告49報 P10▶学会情報 P11▶研修会・講習会 P13▶information
P14▶スポーツ現場の独り言 P15▶余剰を楽しんでみよう P16▶編集後記/原稿送付先

巻頭言



人間力

株式会社 オルタナ 代表取締役
阿部 成浩

仕事を行うときに大切な力とは問われたら、私は「技術力」「仕事力」「人間力」と答えます。

「技術力」これは字のごとく技術を示すものであり、PTではハンドリング技術であったり、トランスファー技術であったり、検査値や心電図を読み解く力であると思います。「仕事力」これはマネージメント力と言われる、段取りや多職種との調整、論理性や効率性の追求といった業務を円滑に行う力だと思っています。「人間力」は、はっきりとした答えはないですが、狙って得られる力ではなく、自分以外の価値を受け入れられるだけの幅、いわゆる懐の深さや揺らぎであり、PTで言えば対象者や多職種、他の技術を受け入れられるだけの幅だと考えます。

これらは、どれか一つだけが突出していても上手くいかず、三次元的に構成されてこそ発揮できるのであろうと思います。

さて、現在、私は病院勤務を経て、株式会社を設立し、デイサービスの運営、関連事業所と提携しリハサービスを提供する仕事をしています。現実には技術提供という形もさることながら、顧客である利用者や事業者に対するリハ・医療的総合アドバイザーとしての位置づけが求められており、対象者の要望やニーズに可能な限りの確にこたえていく時にはPTというより、人間としての幅を要求されていると感じます。鍼灸師や柔整師、介護系の職種など今まで出会ったことのない価値観と向き合うには、単にPTを主張しているだけではうまくいかないことが多くあります。それは対象者の利益を追求する点において目的は同じなので、お互いの得意なことで不得手を補完しあっていくほうが、より良い答えに辿り着けるからです。力量次第で業績に影響がありますので、今では病院勤務と違ったやりがいや面白さを感じています。

しかし、起業して暫くの現実は少々違いました。膨大な事務処理量、PTであるが故に職人としてのプライドを捨て

られず、全ての要望に応えたくなる。応えようとすればするほど、やらなければいけない仕事に忙殺される。最終的に職人として自信があった部分にもミスがでる。もうこうなると、志や夢をもって独立したことさえどこかへ消えていて、いつの間にか誇りを持っていた仕事すら嫌になっている。そんな悪循環に陥った時期がありました。

そんな時、ジャンルの違うある本に出会い、職人である自分、起業を志した自分、仕事を効率化し管理していく自分に分けて考える方法を知りました。ビジネスを生業としている方には当たり前と言われそうですし、単純なことだったので、自分がその環境に入りすぎていると見えなくなるものです。もう一度自分を振り返り冷静になったことで、気持ちに幅がでる経験をしました。

昨今「技術力」や「仕事力」を高める機会を得ることは、休日を利用した勉強会や研修会への参加や、効率化のできるソフトを導入するなど比較的容易に可能です。「人間力」はどうでしょうか？前述した人としての幅であると定義するならば、PTとして生きていくだけでは高めることはできないと思います。私は無理です。異なるジャンルのきっかけがあって理解できたからです。

現実には、休日を利用し研修会に参加、勤務日は膨大な仕事量のため業務に忙殺されている方が多くいるのではないのでしょうか？そのような環境で人間力を高めることやきっかけを作ることは難しいように思います。少し無理をしても、仕事を休んででも、休日の勉強をさぼっても、PTである前の一人の自分と向き合い、ゆとりをつくる時間をとってみたいかがででしょうか？遠回りかもしれませんが、それが「人間力」を高めることになり、幅を作るきっかけを得ることで、最終的にはPTとしての仕事の質がさらに向上すると思います。私も僣越ながら巻頭言を書かせて頂きつつ、今度の休日をどう過ごすか、どうやって自分でいられるか、そう考えています。

活動報告

平成26年度神奈川県公衆衛生協会表彰

平成26年10月31日に平成26年度神奈川県公衆衛生協会総会にて、平成26年度神奈川県公衆衛生協会会長表彰の表彰式が行われました。澤田明彦氏（七沢リハビリテーション病院脳血管センター）が表彰されました。

また、研究症例表彰においては、芝原修司氏（横須賀市中央健康福祉センター）が「二次介護予防対象者の要介護認定状況について」の演題で杉浦賞を受賞されました。



受賞された澤田明彦氏

平成26年度神奈川県保健衛生表彰平塚保健福祉事務所長表彰

平成26年11月17日に神奈川県平塚保健福祉事務所にて、事務所長表彰の表彰式が行われました。沼田浩吉氏（平塚共済病院）が表彰されました。



受賞された沼田浩吉氏



月	日	内容	場所
10月	1日(水)	横浜市障害支援区分認定審査会	関内
	9日(木)	県病院医療関係団体連絡会	県庁
	13日(月)	災害対策研修会	ワールドポーターズ
	14日(火)	常任理事会、会務処理	事務所
	17日(金)	湘南ロボケアセンター訪問	辻堂
	19日(日)	県医療専門職連合会市民公開講座	ワールドポーターズ
	21日(火)	事業運営会議、会務処理	事務所
	25日(土)	第33回関東甲信越ブロック理学療法士学会	幕張メッセ
	31日(金)	会務処理	事務所
	11月	2日(日)	PT協会組織運営協議会
4日(火)		常任理事会、会務処理	事務所
5日(水)		会務処理	事務所
6日(木)		県医療専門職連合会事業企画会議	OT士会事務所
12日(水)		衆参両院議員会館訪問	東京
18日(火)		第3回理事会、会務処理	事務所



平成26年度組織強化委員会講習会 「あるべき姿への挑戦～今、理学療法士がすべきこと～」 (11月9日／かながわ県民サポートセンター) に参加して

介護老人保健施設めぐみの里 リハビリテーション部長 安藤 岳彦

日々の臨床や教育機関において「理学療法の質の向上」を考えると、まず自身で考え、先輩や同僚と意見交換をしていると思います。また、文献を開いたり、研修参加を通して自己研鑽を図ったりすることもあると思います。業務改善が必要であればリハビリテーション課(科)で議論しますし、そこで解決できない課題は病院・施設レベルの会議に挙げることになります。

では、少子高齢化により医療・介護保険制度が大きく変化している現在、理学療法、リハビリテーションを適切に提供し続けていくために、私たちは何をすべきなのでしょう。今回の研修は、この辺りがテーマであったように感じています。

一人目の講師は、友清直樹先生(山王リハビリ・クリニック／日本理学療法士連盟渉外局長兼青年部長)であり、PT・OT・STネットの管理者としてもご活躍中です。

以下、講演内容からの抜粋です。

- ・日本は長期的な人口減少の局面に入り、少子高齢化が進み、2015年には団塊の世代が65歳以上、2025年には75歳以上の後期高齢者となる。
- ・“世界が初めて経験する社会”の到来が目前に迫り、社会の変化の仕方は都道府県、市町村によって大きく異なる。こういった地域レベルでの社会の変化に対応するために、日本は今、医療や介護、生活支援サービス、そしてリハビリテーションを日常生活の場(日常生活圏域)で展開する「地域包括ケアシステム」の構築を目指している。
- ・地域ごとに生じる課題に合わせ、在宅復帰や在宅生活の支援体制とその地域づくりを進める。この議論の場が「地域ケア会議」である。

二人目の講師は、佐々木和人先生(日本理学療法士連盟副会長)でした。

- ・(公社)日本理学療法士協会(以下、協会)は職能団体であり、その役割は①教育・研修、②公益・広報、③渉外(外部との連絡・交渉)の3つ。ステータスを次世代につなぐためにも、学術・臨床だけではなく「渉外」も重要である。

- ・日本理学療法士連盟(以下、連盟)は、理学療法士の考える「あるべき政策」を国政(国会・厚生労働省)の場へ提示し、実現させるために、架け橋となる代表(国会議員)を送る活動を行っている。
- ・山口和之参議院議員(理学療法士)は現在、厚生労働大臣・老健局長・厚生労働省との質疑応答、三団体(日本理学療法士協会・日本作業療法士協会・日本言語聴覚士協会)の要望の提出など、協会、連盟とともに、「あるべき政策」の実現に向けて活躍している。

講師の先生から紹介があった「高齢者の地域におけるリハビリテーションの新たな在り方検討会」の内容は、協会のホームページから閲覧できます。高齢者のリハビリテーションについて今まさに議論されている内容が掲載されていますので、皆さんもぜひ一度、お読みください。きっと、私たち理学療法士の置かれている状況や、協会、連盟に対する理解も深まると思います。

今回の講習会に参加して、現場のニーズや課題を感じ取り、協会や連盟という組織を通じてこれをまとめ、政策につなげる。これは目の前の患者さん、利用者さん、それぞれの地域で提供する「理学療法の質の向上」を考えること、そのものではないだろうかと感じました。そして、日本理学療法士協会や日本理学療法士連盟の取り組みを知ることの重要性を、改めて認識することができました。



活動報告

健康チャレンジフェアかながわ2014報告

神奈川県理学療法士会 公益事業推進部

健康チャレンジフェアかながわ2014のテーマは「健康長寿 日本一を目指そう！」で11月29日に開催されました。当日、雨天にもかかわらず会場のクィーンズスクエアにのべ2700名の方が来場されました。本会は「転ばないカラダ(転倒予防)」をテーマにブースを出展し、FRT・片脚立位保持時間を計測して健康相談を行いました。11時から16時の間に90名もの方にご参加いただきました。また、ステージ発表では東名厚木病院の小林大輔氏が「転ばないカラダ ～介護予防の観点から～」というテーマで講義と簡単な体操の指導を行いました。今回の事業を実施するに当たり、運営委員を士会ニュースやホームページで募集し16名の会員にご協力いただきました。紙面をお借りして改めてお礼申し上げます。



あなたのニーズを

“かたち” にします

義肢・装具・車いす・座位保持装置etc



<http://www.kimura-gishi.co.jp/>

(有)木村義肢工作研究所

〒247-0006神奈川県横浜市栄区笠間3丁目40番5号

TEL 045-892-5424 FAX 045-894-2560

理学療法士 在宅酸素療法の包括的サポートツール

さんに是非使って頂きたい!

Pallet's

運動療法・呼吸療法等+リモコン機能+災害対応

電話 045-852-8170



=



+





(公社)神奈川県理学療法士会 災害対策委員会 鎌倉・大船地区災害対策キャラバンが開催されました。

神奈川県理学療法士会災害対策委員会 下田 栄次

去る平成26年11月16日（日）鎌倉リハビリテーション聖テレジア病院におきまして「災害対策委員会 鎌倉・大船地区災害対策キャラバン」が開催されました。

今年度より災害対策研修会と並行して、神奈川県内における二次医療圏域に準じた形で、本会独自に地域ブロックごとの災害時における連絡・調整担当（エリアコーディネーター）を配置しました。有事の際には、有効に機能する災害リハビリテーション支援ネットワークを構築していくために、今回はその第1回目として鎌倉・大船地区を対象とした災害対策キャラバンを開催しました。



講師には鎌倉市役所より佐藤明彦氏（防災安全部 総合防災課）、石黒知美氏（市民健康課）に加え、実際に石巻や気仙沼で長期間、コーディネーターとして奔走した菅原健介氏（小規模多機能居宅介護 絆）を迎え鎌倉・大船地区における災害時の医療支援体制や要援護者対策、保健師の具体的な保健活動からリハビリテーションとの連携についてお話しいただきました。鎌倉市にて想定している災害時被害想定から現状における要援護者支援対策、また避難所運営や福祉避難所の設置条件、防災体制における今後の課題についてフロアーと意見交換しながら詳細なデータも教示していただきました。また菅原氏からは、自身の活動経験から平時における地域の課題が災害

時の課題に直結する事を痛感し、発災後早期からのリハビリテーションの視点を持った取り組みが必要である事と「地域力＝防災力」の重要性を強く訴えられていました。防災無線から発信される避難所情報など、より具体的な地域特性を捉えた災害対策キャラバンならではの情報も多く、充実した内容となりました。



今回は80名を超える多くの方々にご参加いただき、本当にありがとうございました。またエリアコーディネーターとして事前の打ち合わせから積極的な広報をしていただきました黒水俊吾先生、会場の手配・調整を引き受けてくださいました聖テレジア病院の小山理恵子先生と当日の運営を手伝っていただいたスタッフの皆さまも本当にありがとうございました。

本キャラバンをきっかけに、災害リハビリテーション支援ネットワークの基盤づくりとしてブロック・地域ごとの行政機関や保健センターなどとの連携を深めていけるようにしていきたいと考えています。

次回は平成27年2月1日（日）10時より平塚共済病院にて「平塚・湘南西部地区 災害対策キャラバン」を開催する予定です。来年度も災害対策研修会と各ブロックを対象にした災害対策キャラバンを予定しています。より多くの方々のご参加をお願い致します。



活動報告

障害者スポーツ大会に神奈川県理学療法士会のサポートが平成26年度からスタート

やそだ整形外科リウマチクリニック 池田 俊史

横浜市や川崎市で開催された障害者スポーツ大会に神奈川県理学療法士会がサポートブースを設けました。今回の障害者スポーツ大会は全国障害者スポーツ大会（国体）予選会となり、陸上競技に対応しました。サポートブースでは大会参加者からのストレッチの相談等に対応しました。

平成27年度も同様にサポートブースを出展する予定なので、興味のある会員は参加の検討をお願いします。ホームページから応募もしくはエントリーシート（ホームページ内）の登録をお願いします。

大会規模の1例

ハマピック陸上大会（横浜市の障害者スポーツ大会）

◆競技・種目

競走：50m、100m、200m、400m、800m、1500m、スラローム

跳躍：走高跳、立幅跳、走幅跳

投てき：砲丸投、ソフトボール投、ジャベリックスロー、ビーンバック投

※障害（肢体不自由、視覚障害、聴覚障害、知的障害）によって参加できない競技はありますが、2種目まで参加可能

※肢体不自由のみ年齢区分があります。1部：39歳以下、2部：40歳以上

◆参加者実数（エントリー数）：260名

【内訳】肢体：39名、視覚：13名、聴覚：29名、知的：179名

◆参加者実数：223名

◆参加延べ人数

（2種目エントリー分をカウントした数）：431名



陸上大会初参加レベルのレース前の様子

（サポートブース参加感想文）

5月6日、横浜三ツ沢競技場にて行われた第19回ハマピック陸上競技大会にメディカルサポートの一員として参加させて頂きました。ハマピックへのサポートは今大会が初めてということでしたが、自分自身、理学療法士としての経験も浅く、スポーツのサポート経験もなかったためとても緊張しました。

はじめに理学療法のブースへ来られる方へ実際にどのような事を行っているか、先輩方の様子を見学させて頂き、その後、私も実際にストレッチ指導など行わせて頂きました。試合前後の短い時間でできることは限られていますが、選手の方々にはとても感謝して頂くことができ、少しは力になれたかなという達成感を感じることができました。また、良いコンディションで試合に臨んでもらえるよう、自分自身ももっと色々な事を勉強して、今後、より良いサポートができるようにしていきたいとも思いました。

このような大会に参加することで、サポートする立場としてだけでなく、参加している先輩理学療法士の方々から色々なことを教えて頂く機会ともなり、たくさんの刺激を受けることができました。参加してみて本当に良かったと感じています。

今後もサポートとして参加させて頂き、少しでも選手の皆さんの助けになれたら良いと思いますし、そのような経験を活かして自分自身がこれまでになかった広い視野で日々の臨床に臨めるようにしたいと思います。



国際大会や全国大会経験者の走り



小児理学療法ガイドブック更新のお知らせ — 第1報 —

発達障害支援部部長 萩原 聡、発達障害支援部員 深澤 宏昭

この度、職能局発達障害支援部では、小児理学療法ガイドブックを更新します。今回の更新版では「ホームページを活用した」ガイドブック（仮）になります。

更新にあたり会員の皆様へのお願いがあります。小児領域、発達に障がいのある方への理学療法を実施している病院・施設・訪問看護ステーション・その他事業所の会員の方は、ぜひ、神奈川県理学療法士会ホームページをご確認

していただき、入力フォームに情報を入力し、メールにてご連絡ください。尚、ホームページの小児理学療法ガイドブックの更新は、2015年3月を予定しております。（詳細はホームページをご覧ください）

内容の充実したガイドブックを配信できますよう、皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

新人教育プログラム



新人教育部から新人教育プログラム研修会の受講登録に関するお知らせ

神奈川県理学療法士会学術局新人教育部

新人教育プログラム研修会の受講登録については協会マイページから事前登録受付をお願いしております。

本会では同日に複数のテーマを開催する形態をとっておりますが、各テーマは独立した研修会としての扱いとなります。

受講登録はそれぞれのテーマの登録が必要になりますので、くれぐれもお間違いのないようお願いいたします。

ID・パスワードを紛失された方、ログイン出来ない方は、協会の「お問合せ」－「IDパスワード発行依頼」に従い、ID・パスワードを取得後、受講登録を行なってください。

【お問合せ先】

横須賀共済病院 リハビリテーション科

E-mail: reha-ykh@ykh.gr.jp

新人教育部 部長：木村充広

または

(公社) 神奈川県理学療法士会 事務局

E-Mail: office@pt-kanagawa.or.jp



お問合せ先

募集代理店 **国際保険株式会社**

東京都渋谷区千駄ヶ谷5-15-5 DSビル4F

0120-5931-98

引受保険会社 **Aflac**

首都圏総合支社
東京都新宿区西新宿1-23-7 新宿ファーストウエスト17F TEL.03-3344-1580

アフラックは
がん保険・医療保険
契約件数 **No.1**

平成25年度「インシュアランス生命保険統計」

活動報告

復職支援実務研修体験記

伊藤 弥生さん

会員ライフサポート部
活動報告 第49報
職場環境を考える

神奈川県士会の皆様、はじめまして。自宅会員の伊藤弥生と申します。9月にライフサポート部の復職支援実務研修を受けさせて頂きましたので、ここに報告致します。

1. 参加動機

結婚・出産・育児・介護を理由として離職された方がこの復職支援実務研修を利用されるケースが多いかと思えます。私の場合は、これらにはあてはまらないレア・ケースだったことと思います。私は新卒で入職した病院を6年で辞め、ブランクができてしまうこと等あまり気にせず海外に出たいという思いから1年半ほど語学留学に行き、帰国後、非常勤で5カ月ほど地域理学療法の現場で働きましたが、青年海外協力隊に参加し再び日本から離れていました。いざ、日本の臨床現場に復帰することを考え始めた時に約4年半のブランクの大きさに気づき、今の日本のPT業界でやっていけるのかという不安が先に立ちました。色々と情報を収集する中で、帰国後所属することとなった神奈川県理学療法士会には会員ライフサポート部があり復職支援実務研修を実施していると知り、思い切って問い合わせることにしました。

2. 研修まで

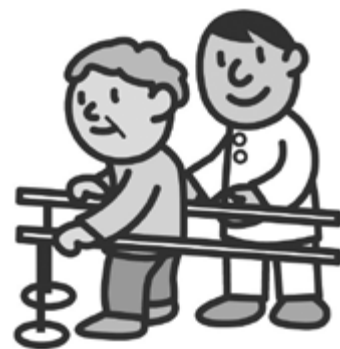
会員ライフサポート部に問い合わせた所、すぐに返信を頂きました。そこから、私の希望に合わせて研修の調整を開始して下さいました。急性期、回復期、生活期、各病期のリハビリテーションを見てみたいという思いがありましたが、以前従事しており馴染みのあった急性期で研修を受けることに決めました。問い合わせから2週間ほどで、聖マリアンナ医科大学病院にて5日間の研修をさせて頂く日程が決まりました。

3. 研修内容

研修を担当して頂いたのは、聖マリアンナ医科大学病院リハビリテーション部の脳疾患チームの寺尾詩子先生でした。以前、勤めていた病院では脳疾患を担当することは少なく専門知識は乏しかったので、今回、脳梗塞、視床出血、小脳出血、クモ膜下出血、水頭症、慢性硬膜下血腫等々脳疾患について多くを学ぶことができました。

フィードバックの時間には、急性期の脳疾患の画像、病態、治療法、合併症、そして、リスク管理について教えて頂きました。

研修中、見学だけでなくお一人の患者様を5日間担当させて頂く機会も得ました。バイタルサインをとるところから治療プログラムの実施、総合リハビリテーション実施計画書の作成、電子カルテへの記録まで一連の流れを体験しました。血圧測定や歩行介助の仕方等私の技術が未熟な点については、その都度、改善のアドバイスを具体的に頂き有難かったです。担当させて頂いた患者様の作業療法の様子や人工呼吸器管理下の患者様のベッドサイド・リハの様子も見学させて頂き、脳疾患チームの色々な場面を知ることができました。また、病棟の看護師さんやメディカルサポートセンターと呼ばれる部署の医療ソーシャルワーカーさんと看護師さんらと合同で行われる各患者様の今後の方針に関するミーティングや脳疾患チームのPT、OT、STによるカンファレンスにも出席させて頂いたことで、患者様との関係だけでなく他のスタッフとのコミュニケーションやチーム医療についても目にすることができました。



4. 研修を終えて

月曜日から金曜日まで連続5日間という日程で研修させて頂き、PTとしての仕事内容だけでなく日本で働くということがどういったものだったかを体感できました。通勤時間が片道1時間以上かかると週半ばでヘトヘトになってしまうこと、基本の勤務時間外にもミーティングがあること等日本では珍しいことではありませんが、この2年、仕事量が少なく勤務時間も短い環境にいたので身が引き締まる思いでした。



研修では、たくさんのセラピストが活躍する現場に触れて刺激を受けました。患者様から学ぶことも多く、改めてPTという仕事に心惹かれ、経験のない分野でも新しいことを学ぶ面白さを味わうことができました。研修を受けたことで今後の道を模索するためのヒントをたくさん頂きました。

最後になりましたが、研修を受け入れて下さった聖マリアンナ医科大学病院のスタッフの皆様、復職に向けて一歩踏み出す勇気を下さった復職実務研修制度を運営されている会員ライフサポート部の皆様、そして、神奈川県理学療法士会に感謝申し上げます。

「復職支援実務研修」研修生募集中 (詳しくはホームページをご覧ください)

離職中の会員を対象に、復職への不安の解消のため実際の臨床現場での研修を行っています

【問合せ・申込み先】 lifesupport@pt-kanagawa.or.jp 会員ライフサポート部へメールでお願いします

【研修期間】 平成26年3月31日までの1～5日間

【研修施設】 ご希望の地域、職域(回復期など)

【参加費】 1日1,000円

※日程や研修施設、研修内容については、個々の希望に応じて調整します。お気軽にお問い合わせください

SAKAimed

明日に踏み出すチカラ。酒井医療

酒井医療株式会社 横浜営業所

横浜市都筑勝田南 2-18-5

tel : 045-590-5485

www.sakaimed.co.jp

地域密着型のお仕事です。一緒に働いてみませんか？

介護サービス
児童サービス

Well

ホイサービスセンター Well(ウェル)

リハビリサポート
介護サービス

足柄ハビリテーションセンター
ふらっと監理部

足柄ハビリテーションセンターふらっと監理部

ほく、かながわん！

PT・OT・ST・看護師 募集中！

ARS
訪問看護リハビリ

ARS訪問看護
リハビリステーション

介護サービス
障がい児・者サービス
あしがらハビリテーションセンター
ふらっと

あしがらハビリテーションセンター
ふらっと



(有)足柄リハビリテーションサービス

TEL : 0465-39-3730

URL : <http://ashigara-reha.jp/>

学会情報



— 第32回神奈川県理学療法士学会新聞 vol.4 —

県学会新聞

一緒に神奈川県を盛り上げよう！

「事前参加登録のお知らせ」



年が明け、第32回学会が近づいて参りました。準備委員一同も鼻息が荒くなってきています。今号は事前参加登録についてのご案内を致します。全て学会ホームページより登録可能です。



■事前登録
県士会会員

の皆様は事前参加登録が可能です。当日の受付をスムーズに行えるよう会員の皆様には早

めのご登録をお願いします。参加自体の登録以外にハンスオンセミナーとランチデイスカッション(子育て支援のみ)の事前登録も行います。沢山の参加登録をお待ちしております。

今すぐ登録を！
2月28日締切予定。

■事業意見交換会

学会は夜も続く！
閉会式後、同会場にてレセプション

第32回 The 32nd Congress of KANAGAWA Physical Therapy Association

神奈川県理学療法士学会

平成27年3月22日(日) 大平 功路 横浜新都市外科病院
パシフィコ横浜

社会貢献
一県民に選ばれる理学療法士になるには—

肩の理学療法は、クライアントに寄り添うことから始まる
ココロとカラダ、そして理学療法

当日スタッフ募集中！

1月末まで募集を継続します。ご興味をお持ちの方、ぜひ一度ホームページをご覧ください！

多様な参加者とネットワークを緩めて交流ができる企画を計画中！
ご期待ください。

■お知り合いの方とご参加を！

学会企画には一般の方も参加可能な県民公開講座(「ココロとカラダ、そして理学療法」・春木豊先生)、健康チェック、理学療法相談もあります。お知り合いの方に参加を呼び掛け一緒に盛り上げましょう。

QRコード

<http://congress-kpta.jimdo.com/>

「登録期間」

■当日スタッフ募集：12月1日～1月末まで

■事前参加登録：2月1日～2月28日予定

※ホームページ内容は随時更新中です！

●他団体

研修会・講習会



解剖/触診勉強会 — 肩甲帯周囲編 —

テーマ：日々の業務で解剖の重要性を感じ再学習したいと考えていませんか？解剖が重要だと認識していても臨床へどのようにつなげれば良いか悩んでいませんか？我々の仕事は解剖学、生理学、運動学が基礎となりますが、その基礎の重要性を再認識する勉強会を企画しました。是非、お誘い合わせの上で参加下さい。

内容：1. 肩甲帯周囲の基本的解剖；筋、骨、関節、靭帯、神経系の学習（3D動画も使用します）
2. 骨、筋、血管の触診
3. 胸郭出口/入口症候群の理解 など

日時：2015年1月25日（日） 10：00～17：00

会場：特別養護老人ホームビオラ川崎
神奈川県川崎市川崎区小田栄 2-1-7

定員：21名

講師：勝浪省三

受講料：6,000円

お問合せ先：メールで勝浪まで
氏名、所属、職種、PCメールアドレスを明記
E-mail：s-k.course@hotmail.co.jp

理学療法士講習会（応用編） — 脊髄障害に対する理学療法の実際

テーマ：脊髄障害の臨床像を理解し、理学療法を施行するうえでの知識や臨床的評価、介入技術を学ぶ。

内容：脊髄障害の理学療法概論、完全麻痺・不全麻痺に対する臨床的な評価や介入法、合併症への対応についての講義および実技を行う。また講義の統合としてVTRにて症例を提示し、グループディスカッションや全体討論の症例検討会を行う。

日時：2015年2月7日（土）～2月8日（日）

会場：神奈川リハビリテーション病院

定員：36名

受講料：15,000円（会員の場合）

お問合せ先：神奈川リハビリテーション病院 理学療法科
「脊髄障害に対する理学療法の実際」事務局 金子瑞菜
TEL 046-249-2545
E-mail：kanapt@kanagawa-rehab.or.jp

神奈川県訪問リハビリネットワークミーティング2015 — 訪問リハビリテーションの質を高めるために

テーマ：今年度から少しずつ各地域に訪問リハビリテーション連絡会が立ち上がってきたところですが、まだまだ十分ではなく多くの仲間とともに盛り上げていく必要があると思っています。

そこで今回、各地域で活躍する訪問セラピストの皆様
に現在の神奈川県訪問リハビリテーションの組織化の現状をご理解いただき、多くの仲間とより良い地域連絡会のあり方を検討したいと思っています。

内容：・神奈川県訪問リハビリテーション協議会の概要と各地域連絡会について
・各地域連絡会からの報告
・各地域連絡会現状の共有
・各地域連絡会の課題の抽出と対策の検討

日時：2015年2月8日（日）
13：00～17：00（12：30～受付）

会場：介護老人保健施設アゼリア（海老名駅徒歩10分）

定員：70名

講師：相川浩一氏（介護老人保健施設アゼリア）

受講料：なし

注意事項：神奈川県理学療法士会のウェブサイトからお申し込みください
<http://www.pt-kanagawa.or.jp/>
(OT,ST含む関連職種も上記サイトから申し込みをお願いします)

受付期間：2014年12月8日から2015年1月26日

お問合せ先：神奈川県訪問リハビリテーション協議会
神保隆行 宛
E-mail：rehabili@tsuzuki-med.org

研修会・講習会



神奈川県立こども医療センター理学療法・作業療法研修会 公開講座

テーマ:「脳性麻痺児の整形外科的治療と手術前後のリハビリテーションについて」

内容: 9:00～10:30
「脳性麻痺児の脊柱側彎手術療法と装具について」
10:30～12:00
「脳性麻痺児の選択的筋解離術について」
13:00～14:30
「脳性麻痺児の評価、手術適応の状態や時期について」
14:30～16:00 症例検討

日時: 2015年2月28日(土) 9:00～16:00
会場: 神奈川県立こども医療センター講堂
対象: 主に神奈川県内の理学療法士、作業療法士など医療・保健・福祉職種
定員: 会場の都合により、先着80名までとさせていただきます。
講師: 中村直行氏 (神奈川県立こども医療センター 整形外科医長)
松尾 篤氏 (南多摩整形外科病院 整形外科医師)
楠本泰士氏 (東京工科大学 医療保健学部 理学療法学科 助教)

受講料: 当日、資料代として500円を徴収させていただきます。
注意事項: ※申し込みの際には、下記の要領でアンケートにご記入をお願いします。

神奈川県立こども医療センターホームページ (<http://kanagawa-pho.jp/osirase/byouin/kodomo/>) → 医療関係者の方へ→研修会やイベントのご案内→理学療法・作業療法 公開講座のお知らせ→アンケートページクリック
集計結果を講師に伝えて講義に活かしてもらいます。

お問い合わせ、申し込み方法:

下記のメールにてお申込みください。

(1) 氏名、(2) 所属、(3) 職種、(4) メールアドレス、(5) 電話番号 をご記入ください。メールによる申し込みが困難な場合は、電話でお申込みください。

申し込み先: 神奈川県立こども医療センター
理学療法室 廣田とも子
E-mail: rigaku_ryoho@kcmc.jp
TEL: 045-711-2351 (内線 2703 理学療法室)

申し込み締め切り: 2015年1月30日(金)

2015国際PNF協会認定基礎コース 春 — 筋力/安定性改善の方略とADL向上方法を学ぶ

内容: 運動性(痛みも含む)/安定性/制御された運動性の問題点を解決し活動レベルを改善する方法論を学び、ICFに基づいてクリニカルリーディングしていきます。患者デモ、二人一組で実際の患者様の協力により評価治療を指導のもと行うことですのですぐに臨床に役立ち、PNFを全く知らない方でも学習可能な内容です。PNFは中枢疾患はもちろん整形疾患、老人、スポーツ選手まで幅広く用いられています。
*国際PNF協会により規定されている内容です。

日時: 2015年4月25日～29日 レベル1
2015年5月23日～27日 レベル2

会場: 特別養護老人ホームビオラ川崎
神奈川県川崎市川崎区小田栄 2-1-7

定員: 16名
講師: 勝浪省三 IPNFA 認定インストラクター

受講料: 100,000円

注意事項: ※基礎コースはレベル1,2参加で完結です。
※料金は前期と後期5万円ずつ別納可能です。

お問合せ先: E-mail: s-k.course@hotmail.co.jp 勝浪省三まで
氏名、講習会名をメールでお願い致します。



information



日本理学療法士協会会員証の運用について

会員の皆様方のお手元には「日本理学療法士協会 会員証」が届いていると思います。



今後、神奈川県理学療法士会や日本理学療法士協会の主催事業の参加受付の際に必ず必要になります。携帯する様に願います。

紛失・破損等による再発行は、**有料（500円税別）**となりますので、ご注意ください。

*再発行の申請については、日本理学療法士協会のホームページをご覧ください。

神奈川県理学療法士会や日本理学療法士協会の主催事業の申込をする際には、日本理学療法士協会ホームページの「マイページ」からの申込になります。

「マイページ」にログインするには、ID・パスワードが必要となります。

*「ID・パスワード再発行」は「マイページ」（ログインできない方は「こちら」をクリック）から再発行申請手続きを行って下さい。

【注意事項】

- ・再発行申請には個人のメールアドレスが必須となります。
- ・再発行申請後に仮受付メールが送信されます。仮受付メールに記載されているURLリンクを開いて、申請を完了して下さい。
- ・メール受信拒否設定されている方は『@ml.japanpt.or.jp』の受信を許可して下さい。

（公社）神奈川県理学療法士会
事務局長 佐藤 史子

楽天カードへの手続きはお済みですか？

☆協会指定会費決済クレジットカードが楽天へ変わりました

☆楽天カードの主な特徴と機能

- 「楽天カード」はカード申し込みがネット上からでき、永年年会費無料。
- 会費（初年度除く）の自動引落しが可能です。
- 書籍購入（一部割引）等が可能となります。

*詳細については、日本理学療法士協会ホームページをご覧ください。

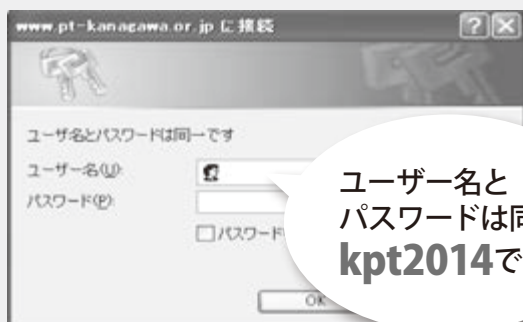
～申し込み方法～

①楽天カードへの新規申し込みを日本理学療法士協会ホームページの「会員専用ページ」より申し込み下さい。

*楽天カードを既にお持ちの方は、所定の手続きをしますとお手持ちのカードが決済カードとして利用可能です。日本理学療法士協会ホームページより「会員専用ページ」にてご確認ください、手続きを行って下さい。

（公社）神奈川県理学療法士会
事務局長 佐藤 史子

アクセス認証が必要です！



本会ホームページの会員ページの（認証あり）と表示のあるサイトの閲覧時にはユーザー名とパスワードが必要です

パスワードは1年毎に変更になります

ご不明点は、トップページの「お問い合わせ」からお寄せ下さい

担当：ウェブサイト管理部

スポーツ現場 の 独り言 (3)

アマチュアとプロフェッショナル

スポーツ界では昔からプロとアマの関係が問題になることが多いのですが、最近は理学療法士の間でもプロフェッショナルとは何か？という話題が多いようです。

広辞苑によればProfessionalは「ある学問分野や事柄などを専門に研究・担当し、それに精通している人」であるとされています。profession「宣言、公言」に由来するという事なので、まさに専門職はプロフェッショナルといえるでしょう。一方、アマチュア(amateur)の語源はラテン語のamator(アマトル)「愛する人」であることから、邦訳は「素人」というより「愛好家」の方がしっくりくるかもしれません。

スポーツにおいてアマチュアリズムとしては、1839年に始まった英国テムズ川で行われるボートレース、ヘンリーレガッタの参加規程に用いられたのが最初とされています。ヘンリーレガッタ組織委員会の規定では、ボート競技の出場者は大学・パブリックスクール、士官、アマチュアクラブに限定していて、肉体労働者は排除されていました。これは、

当時スポーツ界の中心であったブルジョアジー（資本階級）による労働者差別の身分規定とも考えられています。

近代オリンピックの創始者クーベルタン男爵は、古代オリンピックにおいて勝者が月桂の冠以外の栄誉を受けなかったことから、オリンピック参加者は金銭的な報酬を受けるべきではないとして、1901年にアマチュア規定を制定しました。しかし、スポーツの大衆化が進むにつれて身分・職業差別的な概念は薄れていきます。そして、選手の休業補償としての報酬が認められ、また共産圏の「ステート・アマ」（国家に補償された選手）の存在などからアマチュア規定そのものを疑問視する声が大きくなり、遂に1974年ウィーン第75回IOC総会でオリンピック憲章からアマチュア条項が削除されるに至るのです。

さて、私はアマチュアとプロの違いを野球に例えるならば、練習することを楽しめるのがアマで、試合が重要であるのがプロだと思っています。

つまり、アマは野球をやることを楽しむので、その過程である練習を含めて楽しむのですが、プロに過程は関係ありません。試合で好プレーができ、勝利できれば良いわけです。こう考えると、なんだかアマチュアの方が純粋に野球を愛好感が持てませんか？

しかしこれを専門職に当てはめるとどうなるか。理学療法をすることで満足しているのはアマ、理学療法を用いて目的とする機能を再獲得するように導けるのがプロ、ということになりますでしょうか。

つまり、手段と目的を混同してはいけないということですね。

独立行政法人日本スポーツ振興センター
マルチサポート事業 小泉圭介

Gift

日本ウイール・チェア
オリジナルカーシート
(150センチ程度まで)



車いすなんでも相談



日本ウイール・チェア株式会社
〒188-0014 東京都西東京市芝久保町2-22-31
TEL 042-463-1511 FAX 042-463-3730

余剰を愉しんでみよう (4)

映画に出てくる科学者が好きです。と言っても、侵略ものの映画で、死んでいる（はずの）エイリアンを手術台の上で切り刻むような白衣の科学者は対象外です。なぜなら、そうした科学者たちには、ほぼ死亡フラグが立っていますし、製作者の科学へのかすかな悪意を感じるから、という言い過ぎでしょうか。

2012年に公開された「レッドライト」は、シガニー・ウィーバーとキリアン・マーフィーの科学者コンビが、ロバート・デニーロ扮する活動を再開した伝説の超能力者の嘘を暴こうとする、といった映画です。科学とオカルトの対決といった単純な図式に見えて、実は物語の終わりにちょっとした驚きが待っているという点ではよくできたストーリーだと思えますし、デニーロの怪演も光りますが、興行としては今ひとつだったようです。個人的には、同じ大学内で主人公たちとは立場を異にするトビー・ジョーンズ演じる超心理学寄りの研究者の存在が、この映画のひとつの隠し味になっていると考えています。このトビーがデニーロの能力を検証するために企画した厳正な（とされる）実験や、主人公たちによる結果の謎解きも、もちろん面白いのですが、トビーのような科学者の存在自体が、一口に科学といってもその立ち位置は驚くほど多様で、科学者自身が何を正しいと考えているかは思った以上に重要だということを教えてくれます。もしかすると、超能力といったオカルトに対するある種の期待は、その人が科学者かどうかとはまったく関係ないのかもしれない。

明治時代の福来博士による御船千鶴子の透視実験の話（リングの貞子の母親のモデルはこの千鶴子ですが）も、やはり超能力なんてものはインチキだったんですね、などというステレオタイプの答えに終始するより、私たちの心には、どこかこうした疑似科学的なものに対する「期待」が潜んでいることに注目すべきだと思うのです。私は今でこそ、アカデミズムの辺境になん

とかしがみつきたいと思っている身ですから、オカルトを肯定するなんてことは当然ありません。ただ、思い返すと子供の頃は超心理学や、スプーン曲げに興味を持ちました。だから、ドラマや映画の「ガリレオ」で福山雅治が演じる湯川学博士のオカルトに対するアンビバレンツな思いというのには、すんなりと感情移入することができます。

こんなことを言うと、「私はそんなもの最初から信じてないし、一緒にしないでくれ」とおっしゃる人がいます。しかし、ヒトがものを信じるとか信じないとかは、そう簡単なものでしょうか？

米国の物理学者ロバート・L・パークは、「わたしたちはなぜ「科学」にだまされるのか（原題：Voodoo Science）」の中で、自らが戦ってきた歴史も紹介しながら、「科学」と称する疑似科学の類を徹底して叩いています。その戦いぶりはなかなか痛快です。そして、紹介される永久機関や常温核融合の話から浮かび上がってくるのは、疑似科学の詐欺師となってしまう人たちが、実は、最初は何かを発見したと純粋に思っていたのが、それが怪しくなってくると自分自身に嘘をついて、それを信じ込むようになってしまうという事実です。また、周囲の人たちが、「神が存在する方に賭けるのをためらってはいけない」というパスカルの賭け（＝勝てばすべてに勝つことになる）の罠に陥ってしまう構造がそれを助長してしまう。恩恵に預かろうとする欲望をベースに、「真実である」から「信じる」わけではなく、すでに信じているものに一致するかどうか重要としていることに、日常の私たちはどの程度、自覚的でしょうか？

見たいものを見て、信じたいものを信じるという人間の心性を私たちはよく理解しておく必要があります。そして、その理解は、患者さんの心理面よりも、セラピストとしての自分自身に向けられるべきものかもしれません。

国際医療福祉大学
小田原保健医療学部
理学療法学科 谷 浩明



Daiwa House.
大和ハウスクレール

www.daiwahouse.co.jp/robot/

0120-934-576

ロボットスーツ HAL® 福祉用は、
全国で約 250 台が稼動中。

デモンストレーション好評受付中！

ご興味のある施設様は、「この冊子を見た」と下記まで、お問い合わせください。

大和ハウス工業株式会社 東京都千代田区飯田橋3丁目13番1号
ヒューマン・ケア事業推進室 ロボット事業推進室



編集後記

明けましておめでとうございます。1年があっという間に過ぎ去り、2015年の幕開けとなりました。みなさまはどのような新年をお過ごしでしょうか。私の今年の目標は趣味であるゴルフの飛距離を伸ばすことです。飛距離を決める要素として、打球の回転数や打ち出し角度、そして初速が重要となります。打球の回転数や打ち出し角度はゴルフクラブやシャフトの選択により調整が可能です。初速を上げるためにはミート率の向上とヘッドスピードの向上が求められます。ミート率は易しいクラブを選択することやスイング練習により再現性を出すことで向上しますが、ヘッドスピードはどうしたら向上するのでしょうか。答えは多様にあると思いますが、私は「重心移動」と「上半身と下半身の捻転差」が重要だと考えています。この考えは重たいボールを遠くへ投げるための方略と同じです。つまり右足から左足への重心移動（右打ち）による運動エネルギーとインパクトの際に左股関節を内旋位で保持し骨盤の左回旋を防ぐことによる上半身との捻転差（体の回転力）がヘッドスピードの上昇に寄与すると思います。私は今年1年この2つを意識してヘッドスピードを向上させるトレーニングをしていきたいと考えています。みなさまの今年1年の目標はいかがでしょうか。 (田島)

次号の原稿締め切りは**2月6日**です。

国際医療福祉大学小田原保健医療学部（ニュース編集部宛）

news-hensyubu@pt-kanagawa.or.jp

〈原稿は添付ファイルでお願い致します〉

※原稿受取確認を希望する場合は開封確認機能をご利用ください。円滑な編集作業へのご理解とご協力よろしくお願い致します。

— 求人広告掲載についてのお知らせ —

これまで本ニュースにおいて掲載しておりました求人広告ですが、2014年3月号をもって終了とさせていただきます。

今後は、ホームページのみの掲載となります。

ホームページでの求人掲載の申込方法については、以下のURLよりご確認ください。

<http://pt-kanagawa.or.jp/members/job-offer/recruit/>

◆ニュース編集部◆

担当理事：坪内 敬典（茅ヶ崎リハビリテーション専門学校）

部長：谷 浩明（国際医療福祉大学 小田原保健医療学部）

部員：渡邊観世子（国際医療福祉大学 小田原保健医療学部）

今井 祐子（国際医療福祉大学 小田原保健医療学部）

田島 敬之（国際医療福祉大学 小田原保健医療学部）

TVで紹介の“足こぎ車いす”

ショールーム 横浜そごう 9階（横浜駅徒歩2分）

■お問い合わせ 0120-12-6186（営業時間 10：00～20：00）

 神奈川ロイヤル株式会社

〒220-0011 横浜市西区高島 2-18-1

TEL：045-440-3911 FAX：045-440-3912

SP-i

義肢・装具・整形靴・特殊靴など

製作から修理、調整等

湘南義肢研究所

横須賀市小川町27 TEL:046-822-6722

<http://www.sp-i.net/>